

OOOffice (ゼミ室実用版) への要求メモ

1. 会議一覧

- ・プロジェクト会議 (wwHww, M-base)
- ・ゼミ定例会議 (3年, 4年, 院生)
- ・不定期会議 (アプリケーション研究会: "アプリ研")
- ・その他 . . .

2. c h u から見た機能

■会議開催指示/日時確定:

- ・メンバーに会議開催通知.
- ・出欠通知を受けて, 管理.
- ・決められたタイミングでc h uへ出欠状況報告.
- ・(アプリ研の場合) 決められたタイミングで幹事へ買い出し指示
- ・ . . .

■会議開催指示/日時未定

- ・日程の複数の候補とその優先順位と開催条件 (何人以上, 何%以上の出席で開催) を指定し, メンバーにアンケート調査をする.
- ・決定可能ならば決定し, メンバーに会議開催通知.
(以下, 会議開催指示/日時確定に同じ)
- ・決定できないときは, c h uへ状況報告.

■会議室通知

■会議取消通知

■会議出欠予定状況照会

<メタ機能>

■会議登録

- ・会議名, メンバー, 各種デフォルト値

■会議登録事項変更

. . .

n. ダミー機能

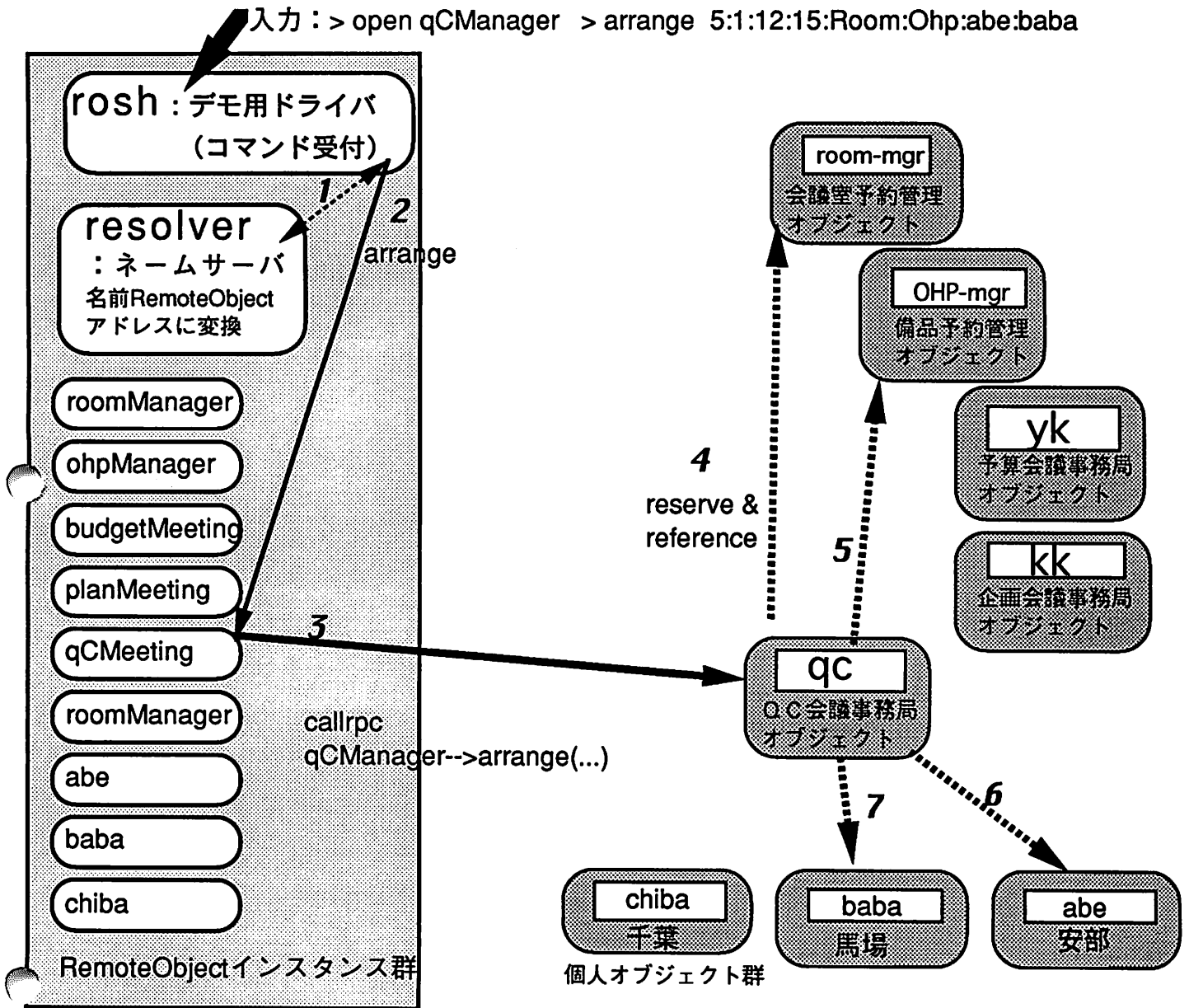
- ・会議室予約 (6501, 6506, 6515, 6517, ゼミ室)
- ・

X. その他

- (1) メーリングリストとの比較
- (2) グループウェア商品との比較

分散協調型モデル（会議開催事務処理の例）のネットワーク化（未完成）

○C++メンバー関数呼び出し→RPC ○Xwindow化 1995.11.10 Chu



callrpc

reference & reserve :

ネームサーバに、対応するRemoteObjectインスタンスのアドレスをたずねて、そこにLocalObjectへのcallrpcを依頼する。ネームサーバは各LocalObject毎に持つ。

(注) 自分のネームサーバが管理するRemoteObjectに関して、自分と同じノードに存在しないときは、"localhost"の代わりに"kajiki"などと指定。

■改良すべき点：

- ネームサーバをシステム全体で1つとし、ノードは固定（例えばkajiki）とする。
- その他の分散協調型のオブジェクトは、任意のノードで稼働可能とする。
- そのために、そのオブジェクトのインスタンス生成時にコンストラクタからネームサーバに自分のアドレスを報告するものとする。
- アドレス配布方法は検討要。
 - ・ネームサーバが適宜配布する。（AP起動時、追加時、）
 - ・必要とするオブジェクトがネームサーバに問い合わせる。
- 拡張機能の実現：例えば会議室や会議の増減、